

## 【事例 H28-37】 徳島県

## SNS を活用した若者向け自殺予防啓発事業

【概要】本県全体の自殺者数が減少する中、平成 24 年から平成 26 年までの年齢別の自殺者数では、19 歳以下の自殺者の割合が年々増加する傾向にあった。

これを受け、若年層等が多く利用している SNS を活用した自殺予防啓発実施のため、Facebook「愛いっぱい・若者・あったか」ネットワーク（愛称：AWA ネット）のページを作成。「新しい仲間と繋がる」きっかけとなるイベント情報をはじめ、「悩みの解決に繋がる」お役立ち情報、「健康問題や就職・労働に関する様々な悩み」に対する相談窓口の周知など、自殺予防に資する情報発信を行った。

【実施主体】 徳島県保健福祉部保健福祉政策課

【大綱の分類】 2) 国民一人ひとりの気づきと見守りを促す

【事業予算】 756 千円（H27 年度）

【利 点】

- ▼若年層をはじめとする幅広い年齢層が利用している SNS を活用することにより、効果的かつタイムリーな自殺予防啓発の実施が図れた。
- ▼SNS を活用するに当たっては、本県が定めるソーシャルメディア利用方針等の運営上の制約はあるが、経費負担が少ないなどのメリットがあった。

【実施に至るまで】

#### SNS を活用する理由

- ①本県全体の自殺者数が減少する中、平成 24 年から平成 27 年までの年齢別の自殺者数では、19 歳以下の自殺者の割合が年々増加する傾向にあった。
- ②SNS は、若年層をはじめ幅広い世代が活用していることから、実態に応じた手法で情報発信する必要があった。

#### ページ作成上の工夫

- ①ページの作成に当たっては、県内の大学、高等専門学校に通う学生、教職員等が携わることにより、若年層の視点を踏まえた企画・運営を行った。
- ②若者の提案による徳島らしさあふれる“ご当地ゆるキャラ”「すだちくん」の新バージョンを作成・活用することにより、県民に自殺予防への理解や効果的な情報発信に対して期待できる。

《主な発信情報》

- 「健康問題や就職・労働に関する様々な悩み」に対応する相談機関に繋がる情報
- 「悩みの解決に繋がる」お役立ち情報

- 「新しい仲間と繋がる」きっかけとなるイベント情報
- 「自らがこれからどのように生きていくか」についてのヒントに繋がる各種情報
- 「心温まるすだちくん動画」及び「PR 動画」 など

【成 果】

▼平成 27 年中の本県の自殺者数は過去 10 年間で最も少ない 130 人、自殺死亡率は 17.0 ポイントとなり、減少率は全国第 2 位となった。

【補 足】

《画面イメージ》



【課 題】

- ・ 県内の若年層だけでなく、幅広い世代にも閲覧していただけるような工夫が必要

【事業種別】

普及啓発（若者に向けた自殺予防に関する情報発信）

【準備期間・人数】

5ヶ月・約50人

【予防段階】

1次、2次予防

【自治体規模】	人口:約75万人 財政規模:約4,800億円 (H27時点)
【自治体負担率】	1/2 (地域自殺対策強化交付金)
【事業対象】	県内の若年層をはじめとする全世代
【支援対象】	県内の若年層をはじめとする全世代
【実施主体・問合せ先】	徳島県保健福祉部保健福祉政策課 (政策調整担当) TEL : 088-621-2179

【参考資料・文献】

- (ア) 徳島県庁HP <http://www.pref.tokushima.jp/>
- (イ) 厚生労働省自殺対策白書 <http://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/jisatsu/16/>